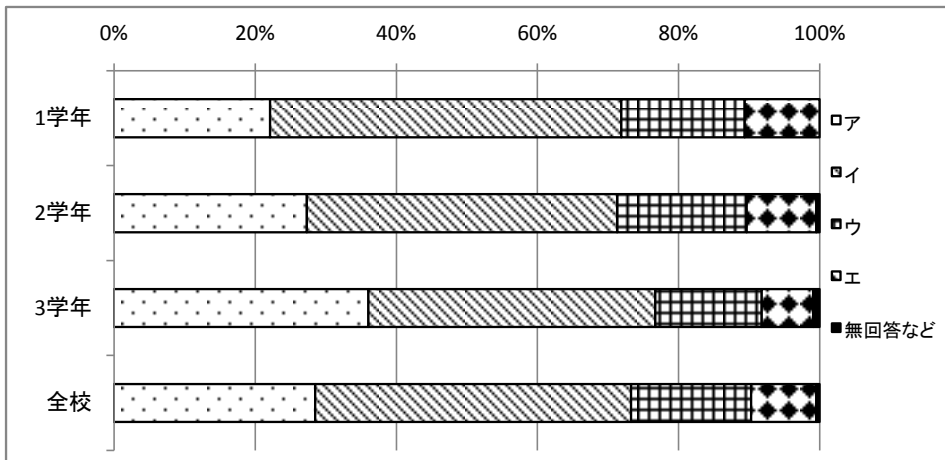


「ノー携帯デー」実施後のアンケート集計結果
生徒指導係 平成26年(2014年)6月

○ ノー携帯デー実施日	6月11日(水)
○ アンケート実施日	6月12日(木)、一部6月13日(金)
[基礎データ] ○ 調査方法	無記名・自筆による質問紙調査。クラス担任が配布・回収を行う。
○ 調査対象	全生徒(在籍728)
○ 有効回答数(回答率)	659(90.5%)

設問1 あなたは普段(月～金曜日)1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォン、パソコンを使いますか。
ア 1時間未満
イ 1時間以上2時間未満
ウ 2時間以上3時間未満
エ 3時間以上

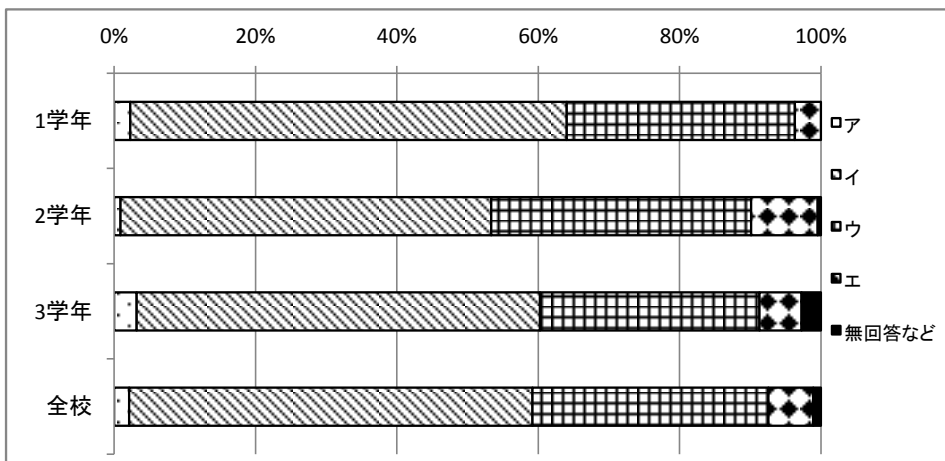
	ア	イ	ウ	エ	無回答など	回答者数
1学年	22.1%	49.8%	17.5%	10.6%	0.0%	217
2学年	27.4%	43.9%	18.4%	9.9%	0.4%	223
3学年	36.1%	40.6%	15.1%	7.3%	0.9%	219
全校	28.5%	44.8%	17.0%	9.3%	0.5%	659



設問2 登校から帰宅まで携帯端末なしの生活を送ったの気持ちはどうでしたか。

ア 携帯なしの生活は考えられず、気持ちがいらいらするなど落ち着かなかった。
イ 少し不便に感じたが、いらいらするほどではなかった。
ウ 全く不便とは感じず、落ち着いた気分だった。
エ その他

	ア	イ	ウ	エ	無回答など	回答者数
1学年	2.3%	61.8%	32.3%	3.7%	0.0%	217
2学年	0.9%	52.5%	36.8%	9.4%	0.4%	223
3学年	3.2%	57.1%	31.1%	5.9%	2.7%	219
全校	2.1%	57.1%	33.4%	6.4%	1.1%	659

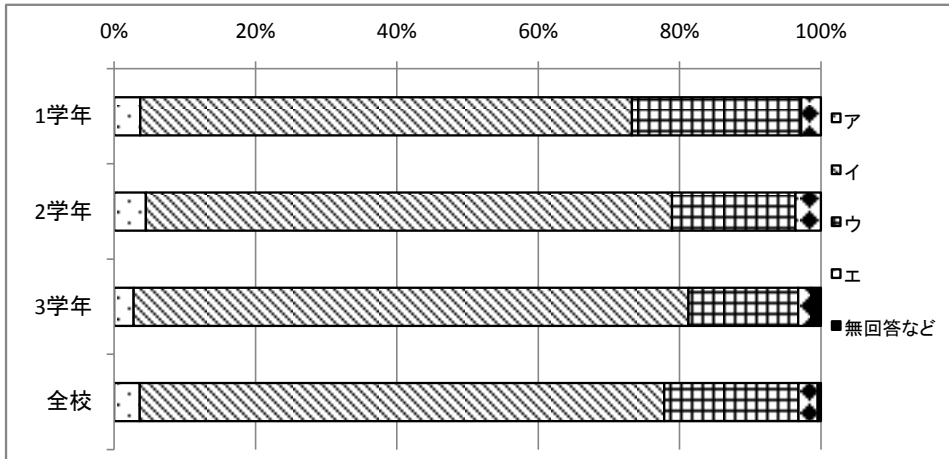


「ノー携帯デー」実施後のアンケート集計結果
生徒指導係 平成26年(2014年)6月

設問3 帰宅した後、携帯端末やパソコンなどへの接し方はどうでしたか。

- ア 帰宅後、普段以上に携帯やパソコンを操作する時間が増えた。
- イ 帰宅後、普段と同じぐらいの時間にわたり携帯やパソコンを操作した。
- ウ 帰宅後、普段よりは少ない時間にわたり携帯やパソコンを操作した。
- エ その他

	ア	イ	ウ	エ	無回答など	回答者数
1学年	3.7%	69.6%	24.0%	2.8%	0.0%	217
2学年	4.5%	74.4%	17.5%	3.6%	0.0%	223
3学年	2.7%	78.5%	15.5%	1.8%	1.4%	219
全校	3.6%	74.2%	19.0%	2.7%	0.5%	659

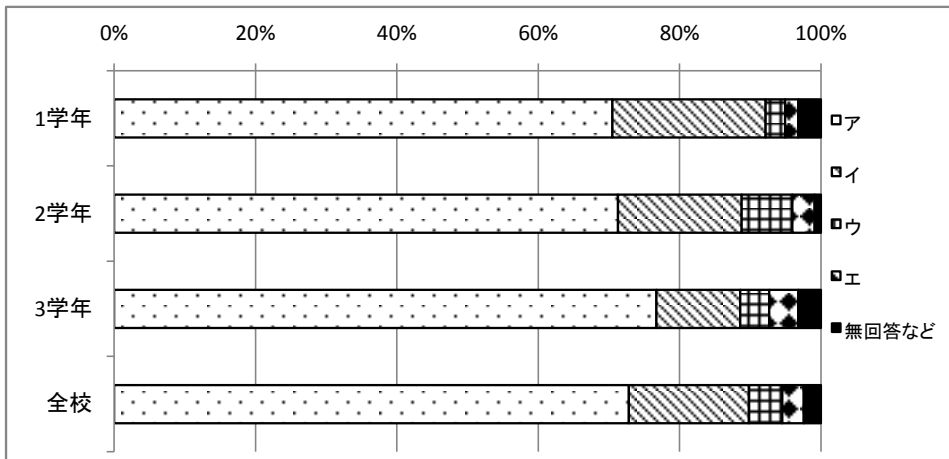


設問4

K.ヤングによるネット依存に関する定義に基づき(ヤング8)、あなたはどれに当てはまると思いますか。

- ア 2項目以下に該当するので、依存傾向とは言えない。
- イ 3項目に該当するので、依存傾向の入口にあると言える。
- ウ 4項目に該当するので、このままでは依存傾向になると言える。
- エ 5項目以上に該当するので、依存傾向にあると言える。

	ア	イ	ウ	エ	無回答など	回答者数
1学年	70.5%	21.7%	2.8%	1.8%	3.2%	217
2学年	71.3%	17.5%	7.2%	3.1%	0.9%	223
3学年	76.7%	11.9%	4.1%	4.1%	3.2%	219
全校	72.8%	17.0%	4.7%	3.0%	2.4%	659

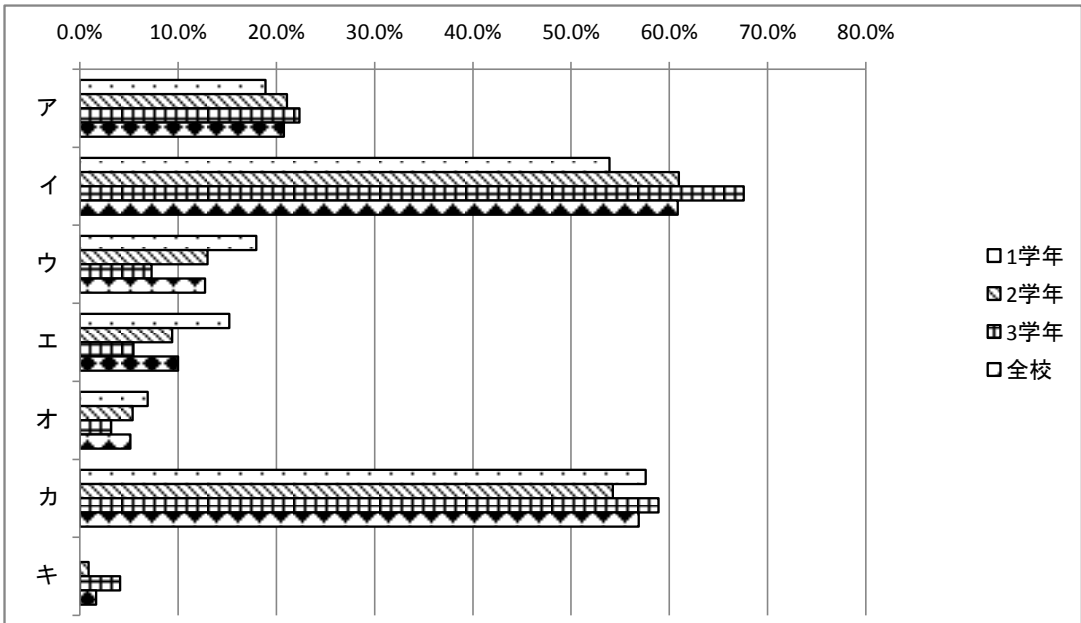


「ノー携帯デー」実施後のアンケート集計結果
生徒指導係 平成26年(2014年)6月

設問5 あなたは以下の項目に該当しますか。(あてはまるものをすべて選択)

- ア 食事中に携帯端末を近くに置き、時には使用することもある。
- イ 寝室に携帯端末を持ち込み、時には使用することもある。
- ウ 友人や仲間と一緒にいる際に、携帯端末の操作に夢中になることがよくある。
- エ 歩きながらや自転車に乗ったまま携帯端末を操作することがよくある。
- オ LINEなどを通じてのメッセージが届いた場合、すぐに返信しないといけないと思う。
- カ LINEやツイッターなどのやり取りについては、深夜(午後11時以降)でも行うことがある。
- キ LINEやツイッターなどを通じて悪口を言われたり、仲間外れにされたりしたことがある。

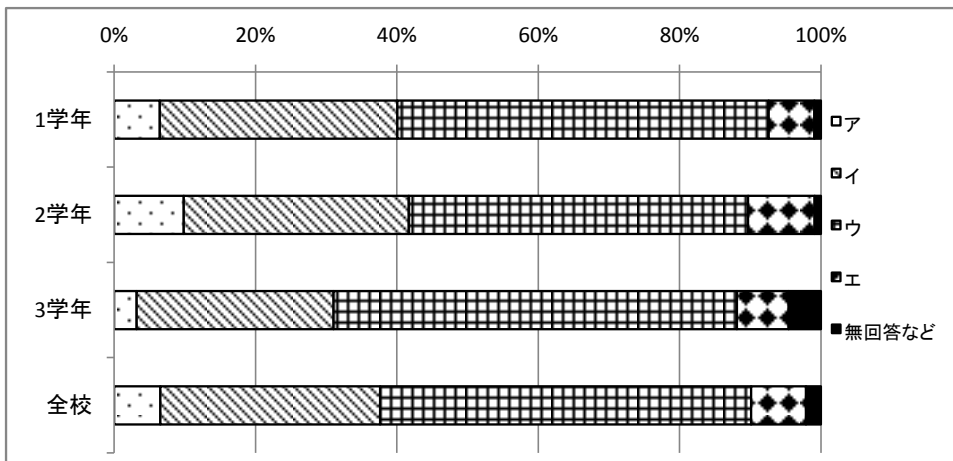
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
1学年	18.9%	53.9%	18.0%	15.2%	6.9%	57.6%	0.0%
2学年	21.1%	61.0%	13.0%	9.4%	5.4%	54.3%	0.9%
3学年	22.4%	67.6%	7.3%	5.5%	3.2%	58.9%	4.1%
全校	20.8%	60.8%	12.7%	10.0%	5.2%	56.9%	1.7%



設問6 一般にネット依存傾向を改善するにはどうすればよいと思いますか。(最も近い意見を選択)

- ア 中高生には携帯電話を持たせないなどの法律や条例を作るなどして、強制的にネットとの接続を断ち切るべきだ。
- イ 学校教育でネット依存についての知識を身につけられるような授業等を充実させ、ネット依存の歯止めをかける方を考えるべきだ。
- ウ 個人の自覚によりネット依存傾向には歯止めがかけられるので、個人の努力に任せるべきだ。
- エ ネット依存傾向の伸長を食い止めることはできないので、放置するしかない。

	ア	イ	ウ	エ	無回答など	回答者数
1学年	6.5%	33.6%	52.5%	6.5%	0.9%	217
2学年	9.9%	31.8%	48.0%	9.4%	0.9%	223
3学年	3.2%	27.9%	57.1%	7.3%	4.6%	219
全校	6.5%	31.1%	52.5%	7.7%	2.1%	659



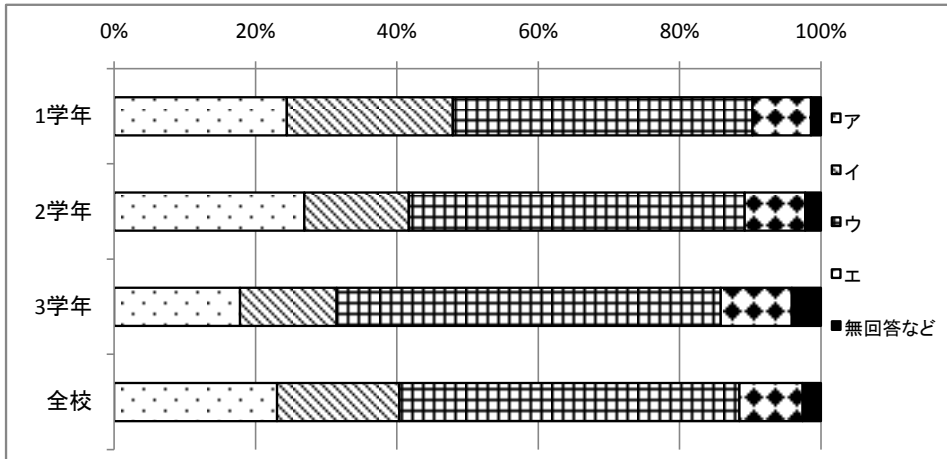
「ノー携帯デー」実施後のアンケート集計結果
 生徒指導係 平成26年(2014年)6月

設問7

ネット依存傾向改善の目的で「ノー携帯デー」を実施しましたが、この取組について今後どうしたらよいと思いますか。

- ア 一年間に2～3回の頻度で定期的を実施するとよい。
- イ 一か月に1回の頻度で定期的を実施するとよい。
- ウ 定期的を実施する必要はない。
- エ その他

	ア	イ	ウ	エ	無回答など	回答者数
1学年	24.4%	23.5%	42.4%	8.3%	1.4%	217
2学年	26.9%	14.8%	47.5%	8.5%	2.2%	223
3学年	17.8%	13.7%	54.3%	10.0%	4.1%	219
全校	23.1%	17.3%	48.1%	9.0%	2.6%	659



「ノー携帯デー」実施後のアンケート集計結果
生徒指導係 平成26年(2014年)6月

[設問2 その他に記されたこと]

(同内容のものをまとめて、数の多かった順に並べてある。単独の意見については省略。)

- 親などに連絡できず不便だった。
- いつもと特に変わらなかった。
- 携帯電話等はいつも使っていない。
- 日中、読書時間が多く取れた。

[設問3 その他に記されたこと]

(同内容のものをまとめて、数の多かった順に並べてある。単独の意見については省略。)

- 全く使わなかった。
- いつもと変わらなかった。
- いつも使わない。

[設問7 その他に記されたこと]

(同内容のものをまとめて、数の多かった順に並べてある。単独の意見については省略。)

- やらない方がよい。
- 実施する意味がない。わからない。
- 携帯等を朝回収して放課後返却等のやり方で、登下校中は使用可とする。
- 2週間に1回など、頻繁に実施してよい。
- 「ノー携帯デー」でなく「ウィーク」にして行う。
- 携帯電話がないと不便だ。
- 梅雨の時期に実施すべきではない。雨に降られても親と連絡を取れないから。

[設問8 自由記述欄に記されたこと]

(同内容のものをまとめて、数の多かった順に並べてある。単独の意見については省略。)

- スマートフォン等の使用は依存性の強いものだ。
- スマートフォン等は便利な反面、使い方に注意が必要だ。
- 携帯電話は便利なものだ。
- 携帯電話がないと不便だ(親や友達との連絡・メモ・写真撮影・スケジュール管理等)。
- ノー携帯デーは必要ない。
- 携帯電話等の持ち込みを規制すべきではない。
- 校内で歩きながらスマホを操作するのをやめてほしい。
- ノー携帯デーの実施方法を考えてほしい(登下校中は使用可、持ち物検査を徹底する、など)。
- 携帯電話を使うのも、ネットを使うのも個人の問題であり、自己責任である。
- 携帯電話がないともっと不便に感じると思ったが、意外とそうでもなかった。
- 携帯電話やネットは危険なものである。
- スマートフォン等は楽しい。
- スマートフォンは、通信機器というより娯楽目的(ゲーム等)で使用している。
- スマホ使用に当たっては正しい知識で、自制心を働かせて適切に使用する必要がある。
- 携帯電話は必要なものだ。特に緊急連絡時。

「ノー携帯デー」実施後のアンケート集計結果
生徒指導係 平成26年(2014年)6月

- 20歳以上でなければネットを使えないなど、強制力を働かせるべきだ。
- 自分がスマートフォンにどれだけ頼っていたかがわかった。
- 携帯がないと、普段よりも友達とよく会話ができた。
- ネット依存にならないためにも、現実生活を充実させるべきだ。
- スマートフォンの存在がコミュニケーション減退の原因だと思う。
- 大人(教師)も携帯電話の使い方について考えてほしい。
- 携帯電話が邪魔だと思う時がある。
- 携帯電話の使用については自主的に規制するので、学校が関与する必要はない。
- ノー携帯デーを定期的に行ってもよい。
- 授業中に使っている人がいて気になる。
- 下級生ほど携帯に依存しているような感じがする。
- 人間は携帯電話を手放せない、そういう時代になってしまっている。

[先生方から寄せられたご意見等]

- 当日、塩尻から列車(上諏訪7:51着)で通勤してみましたが、列車の中でも携帯を使用している本校生徒は見かけませんでした。
「ノー携帯デー」や生徒指導通信を通して、一歩立ち止まって考えるきっかけになったのではないのでしょうか。
- 生徒同士で顔を見ながら話をしているのが印象的だった。
「暇なので勉強している」という生徒がいた。
今日(ノー携帯デーの翌日)になっても携帯を預けに来る生徒もいる。
- スマホがないと、ボードゲームを持って来る者もいました。
- 集計はデータで提出できるとありがたいと感じました。
- スマホの校内での使用については、生徒に任せていても解決はできないので、教師主導で制限を加えざるを得ないと思います。その意味で今回の試みを今後の指導に活かしていきたいと考えます。
- 良い試み。よく断行されたと思います。昨今のスマホ依存傾向に少しでも歯止めがかかるきっかけになればいいですね。